

# ソフトボール競技規則

1. 競技規則 2007年度日本ソフトボール協会オフィシャル・ルールによる。
2. 競技種目 ソフトボール競技とする（女子選手出場も可）
3. 出場資格 茨城県、神奈川県、群馬県、東京都、栃木県、千葉県、埼玉県、山梨県に編成した8チームとする。
4. チームの編成 (1) チームの編成は、監督・コーチ・マネージャー・スコアラーを含む20名以内とする。  
監督またはコーチ・マネージャー・スコアラーが選手として出場することはできるが、選手として出場する場合は、20名の範囲内で登録しなければならない。  
(2) 特別な理由（突発的な事故、病気等）がある場合に限り、選手の変更並び背番号の変更は、本大会の競技実施要項の規定（所定の用紙に理由を明記して大会前日までに提出する）に従って認められる。但し、追加の申込みは一切認められない。  
(3) 県単位にチームを編成できない場合は、他県のチームに加入することはできる。但し、人数は2名までとし、申込み締め切り後の登録・変更については認められない。
5. 試合方法 トーナメント方式にする。但し参加チームが少ない場合はリーグ戦で7回戦とする。
6. 競技方法 (1) 試合は7イニング制と時間制を併用し、どちらか先に達した時点で試合終了とする。7回を終了して同点の場合は8回よりタイブレーカーを適用する。  
(2) 90分を越えて新しいイニングに入らないものとする。7イニングまで達した場合は規定時間に達していなくても終了とする。  
(3) 5回以後7点差が生じた場合は、コールドゲームとする。また、時間切れが生じたとき、同点の場合は次回よりタイブレーカーを適用する。  
(4) タイブレーカーは、継続打順とし、前回の最終打者を2塁走者とし、無死2塁状態にして1イニングを行い、得点の多いチームを勝者とする。  
なお、タイブレーカーを1イニング実施しても勝敗が決しない場合は、抽選により勝敗を決定する。（決勝戦を除く）  
(5) 決勝戦は7回とする。同点の場合は8回よりタイブレーカーを適用する。  
時間制限なし。  
(6) 日没・降雨・その他プレーヤーが危険にさらされる恐れが出た場合は、コールドゲームとする。5回あるいはそれ以上のイニングを終了するなか、

5 裏の後攻チームが攻撃中にあっても、後攻チームが先攻チームより多くの得点をした場合は、コールドゲームとして試合は成立する。

7. 使用球 ナガセケンコー 3 号球

8. 組み合わせ抽選 監督・主将会議において、抽選を行う。

9. 表彰 (1) 団体表彰は、優勝・準優勝・3 位とする。  
(2) 表彰は、最高殊勲選手賞・最優秀投手賞・最優秀打者賞・敢闘賞とする。  
(1 回戦から決勝戦までの全試合を選考基準対象とする。)

10. その他 (1) ベンチに入る人数は本大会登録人数とする。  
(2) ダブルベースを使用する。  
(3) その他詳細については参加チームに直接連絡するとともに監督・主将で定める。  
(4) 選手の傷害保険は、各チームにおいて加入しておく。  
(5) 外野フェンスを設営すること。

## 注 意 事 項

### 1. 選手の集合時間

試合開始予定時刻の 30 分前、または前の試合 5 回終了までに、当該球場に集合すること。遅れた場合は、原則として棄権とみなす。

### 2. 打順表の記入と提出

試合開始予定時刻の 30 分前、または前の試合 5 回終了までに、打順表(4 枚 1 組複写)に必要事項を記入し、必ずふりがなをつけて球場本部に提出すること。相手のチーム打順は、審判・記録員の照合確認の上、審判員より受け取る。

### 3. 攻守順の決定

打順表提出の時、審判員立会いのもと「コイン」のトスによって決定する。  
「コイン」の裏表は先着(打順表持参)チームに優先権を与える。

### 4. 競技者席

組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。ベンチに入る人数は要項で定められた者以内とする。

### 5. フィーディング

- (1) 競技場に入ることを許されたメンバーで行うこと。
- (2) 後攻チームより 5 分間とし、審判員の指示に従うこと。
- (3) 大会進行上、時間の短縮及び省略することもある。

## 6. 競技用具

- (1) バット、両耳ヘルメット( J S A )の点検をし、規定以外のもの及び危険と思われる用具は、試合終了まで、球場本部席で保管する。(試合終了後、受け取りにくること)
- (2) 同一チームの選手のユニホームは同色、同衣装で統一された品位あるものであること。また、帽子は同一のものとする。
- (3) 背番号は監督 30 番・コーチ 31 番、32 番・主将 10 番・選手は 1 番から 99 番までとする。
- (4) 攻撃中の打者、次打者、走者はヘルメットを着用しなければならない。
- (5) 守備中の捕手は、スロートガード付マスク、ヘルメット、レガースを着用しなければならない。ボディプロテクターを着用しなければならない。
- (6) 捕手(または他のプレーヤー)が準備投球する時も、スロートガード付マスクを着用しなければならない。
- (7) 金属製スパイク使用は認めない。また、危険行為をした場合は退場とする。
- (8) コーチBOXにヘルメットを着用しなければならない。

## 7. 競技開始

- (1) 「集合準備」の指示で自己のベンチ前に列横隊に立つ。
- (2) 「集合」の号令と同時に駆け足でホームプレートをはさんで整列する。

## 8. 攻守交替・選手交替

- (1) すべて、駆け足で敏速に交替を行う。
- (2) 選手の交替は、監督が球審にすみやかにその旨、通告すること。
- (3) 出場の時のみ、選手交替届出用紙を提出すること。

## 9. 攻守交替のボール

別に指示があった時以外は審判員に渡さない。

## 10. 抗議

審判員の判定に基づく判定に対して抗議することは許されない。ルール上の疑義については、監督または主将に限り、これをただすことができる。

## 11. その他

雨天の際の処置について

- ア) 小雨決行
- イ) 試合を中止、又は開始時刻を変更する場合は大会本部から各チームに連絡する。  
但し、雨天の場合は必ず競技場で集合すること。
- ウ) 午前中雨天でも、天候の回復状況により試合を開始することもある。
- エ) 大会の負傷・病気については、応急手当は、主催者側では行わない。